

研究室名	<b>植物生理学研究室・先端機器分析センター 学会発表</b>
------	---------------------------------

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	植物化学調節学会第 58 回大会
演題名	シロイヌナズナ胚軸間接ぎ木と傷害応答に対する麻醉処理の影響
発表者	平山 朔也1※、○岩渕モカ2※、柴田 恭美2、湯本 絵美3、宮本 皓司2、陽川 憲4、朝比奈 雅志1,2,3 (1帝京大・院・総合理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3帝京大・先端機器分析セ, 4北見工業大・工,)
内容	本研究では、植物に対する麻醉処理が、植物ホルモンや接ぎ木接着にどのような影響を与えるかを解析したものであり、植物であるシロイヌナズナやトマトに動物に対して麻醉効果がある物質を投与すると、傷害に応じて発生する植物ホルモンが抑えられることなどを報告した。この研究は本学先端機器分析センター、筑波大学、北見工業大学との共同研究であり、麻醉の作用機序の解明や新しい農園芸技術への応用が期待される。なお、本研究の一部は、科学研究費補助金、私学事業団特別補助（大学間連携等による共同研究）、先端総研チーム研究助成金,G7奨学財団研究開発助成金による支援を受けて行ったものである。